

## 令和4年度最適化活動の目標の設定等（案）

都道府県名： 京都府

農業委員会名： 亀岡市農業委員会

## I 農業委員会の状況（令和4年4月1日現在）

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年 7 月 20 日

任期満了年月日 令和5年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	4
認定農業者に準ずる者	—	7
女性	—	—
40代以下	—	—
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	29	29	29

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	2,153
農業経営体数	1,487

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,322
女性	441
40代以下	33

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	102
基本構想水準到達者	—
認定新規就農者	23
農業参入法人	—
集落営農経営	46
特定農業団体	—
集落営農組織	46

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,620	110	110			2,730

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## Ⅱ 最適化活動の目標

### 1 最適化活動の成果目標

#### (1) 農地の集積

##### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	2,730 ha	481 ha	17.6 %
課題	農業従事者の高齢化に伴う不耕作地の発生や相続により農地を取得したが、農業経営が困難な者が増えている状況により、遊休農地が年々増加傾向にある。農業委員会と農家組合等関係機関が連携して遊休農地の解消を図っていく必要があるが、特に山間部に位置する農地等は耕作条件が悪く、困難な状況である。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

##### ② 目標

農地の集積の目標年度	令和5 年度	集積率	53 %
今年度の新規集積面積	3 ha	農地面積(C)	2,730 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	484 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	17.7 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

#### (2) 遊休農地の解消

##### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	9.1 ha	6.4 ha	2.7 ha
課題	農業従事者の高齢化に伴う不耕作地の発生や相続により農地を取得したが、農業経営が困難な者が増えている状況により、遊休農地が年々増加傾向にある。また、有害鳥獣被害、米価の下落による農業者の意欲低下が解消を妨げる要因となっている。		

##### ② 目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	6.4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.3 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

###### b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	2.7 ha
--------------------------	--------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	関係部署(京都府、亀岡市、農業会議等)と協議を実施
-------------------------	---------------------------

###### イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	3 ha
---------------------------	------

### (3)新規参入の促進

#### ①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者
	1 経営体	5 経営体	0 経営体
	0.9 ha	1.5 ha	0 ha
課題	米価の下落や有害鳥獣被害により、農業を営む担い手の確保が難しい。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

#### ②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	90 ha	112 ha	103 ha	102 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	10.2 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

## 2 最適化活動の活動目標

### (1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	7 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19 人
		農地利用最適化推進委員の人数	29 人

### (2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
令和4年8月	遊休農地調査月間	各町別に農地パトロール調査を実施し、遊休農地の把握、解消に努める。
令和4年10月	利用意向調査月間	利用意向調査後の遊休農地や所有者等に係る情報収集と利用意向確認を行い、遊休農地の解消に努める。
令和4年12月	守るべき農地情報共有月間	農家組合等関係機関と連携し、年度末の農地情報等を共有し、次年度の遊休農地解消に努める。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

### (3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	未定	相談会名	未定
参加者数	2人	開催場所	未定
相談会の内容	新規参入者の要望の把握と他市町村の取り組みを情報共有する。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			